



IWATE BANK NEWS LETTER



平成27年2月24日

株式会社岩手銀行
株式会社北日本銀行

～「いわて産学連携推進協議会（リエゾナー I）」への取組み～ 「第12回リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」贈呈について

岩手銀行（頭取 田口幸雄）、北日本銀行（頭取 佐藤安紀）では、両行が参画する「いわて産学連携推進協議会（リエゾナー I）」のおもな活動として取り組んでいる「研究開発事業化育成資金」贈呈事業について、第12回となる今年度の贈呈先が決定しましたのでご通知申し上げます。

記

1. 「いわて産学連携推進協議会（リエゾナー I）」について

(1) 大学等の研究シーズ（新たな技術等）と企業の技術・製品開発等のニーズをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的に、平成16年5月に設立しました。

現在、3金融機関と10研究機関が参画しています。

(2) おもな活動は、「リエゾナー I マッチングフェア」の開催、岩手県内の金融機関による「リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」の贈呈等です。

2. リエゾナー I 研究開発事業化育成資金の贈呈について

(1) 創設目的

① 企業等が有する技術・製品開発等のニーズと大学等が有する高度な技術研究成果とを共同研究等を通じてマッチングさせることにより、「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援するものです。

② また、この育成資金を呼び水として、大学等にある「事業の芽」「技術の種」を企業等が事業化に向けて研究開発に積極的に取組むことを期待するものです。

(2) 対象先

① 「リエゾナー I」に参画している研究機関との共同研究により新たな事業化を目指している企業等で、企業等の所在地域は、岩手県、青森県、秋田県、宮城県とします。

② なお、地域の中小企業支援の観点から、証券取引所上場会社およびそのグループ企業等は、原則として応募できません。

(3) 贈呈金額

① 年間贈呈額1,500万円を上限とします。

② 1先あたり200万円を上限とします。

岩手銀行



IWATE BANK NEWS LETTER



3. 今年度の贈呈について

(1) 贈呈先企業

6社に対し900万円の贈呈を行いました。

なお、贈呈先は別紙「『第12回リエゾン-I研究開発事業化育成資金』贈呈先一覧」のとおりです。

(2) 現在までの贈呈状況

第1回から第12回までの贈呈件数金額は、延べ76件の1億300万円となりました。

(3) 贈呈式の開催

平成27年2月23日(月)に岩手大学構内(コラボMIU)で開催され、金融機関を代表して岩手銀行田口頭取より6社の代表者に認定証の授与および目録の贈呈を行いました。

【贈呈式の様子：受賞企業の代表者とリエゾン-I支援機関との記念撮影】



<本件に関するお問合せ先>

岩手銀行地域サポート部 曾 我 TEL: 019-624-8325

北日本銀行営業統括部 浅 沼 TEL: 019-626-6468

岩手銀行

「第12回リエゾン－I 研究開発事業化育成資金」贈呈先一覧

(平成27年2月23日贈呈)

○ 株式会社 東光舎

代表者：代表取締役社長 井上 研司

住所：岩手県岩手郡岩手町川口11-3 (岩手工場)

事業計画名：被災地初期医療用キットの開発

共同研究者：岩手県工業技術センター 長嶋 宏之

計画の要約：被災地の初期医療対応を速やかにすることを目的に、ディスプレイ医療用プラスチックハサミの試作、評価および評価機器の開発を行った。まずは、メツエンバウム型ハサミの形状をデジタル化したデータをもとに、医療用ハサミの3D形状データを作成した。この3Dデータから3Dプリンターを含む成型法3種で試作することとし、カーボンやグラスファイバーのフィラー入りを含む4種類のプラスチックを選定した結果、CFRP射出成形により所定の特性を有するハサミを製作することができた。また、本試作のための刃先押圧測定機の開発に加え、ハサミ施策と同様の手法で東光舎製鑷子の試作にも成功した。

贈呈金額：150万円

○ 株式会社 門崎

代表者：代表取締役 千葉 祐士

住所：岩手県一関市川崎町薄衣字法道地21-16

事業計画名：県産素材を活用した新規畜肉加工品の開発 (県産スモークチップを活用した新規冷凍(生)ハンバーグの開発)

共同研究者：岩手県工業技術センター 食品技術部 伊藤 良仁、醸造技術部 佐藤 稔英

計画の要約：本事業は、一関市門崎地区産の「メダカ米」、岩手県三陸産の「野田の塩」、南部杜氏用に開発された岩手県オリジナルの塩麴「黎明平泉」を使用し開発した「オールいわての塩麴ハンバーグ」を更に差別化し、県産木スモークチップを用いた燻製加工の工程を確立させることで、「フライパンで焼いても炭焼き風味が楽しめる、オールいわての塩麴ハンバーグ」の商品化を目指す。

贈呈金額：150万円

○ 株式会社 ジュークス

代表者：代表取締役 城内 治

住所：岩手県久慈市長内町32-18-2

事業計画名：燃料電池用白金電極触媒の低白金量産技術の開発

共同研究者：岩手大学 工学部 応用化学・生命工学科 教授 竹口 竜弥

計画の要約：燃料電池は、水素と酸素の化学反応から直接電気を発生させる画期的な高効率発電装置であり、広範な普及が期待されている。本事業は、燃料電池の普及に不可欠な低白金化技術を確立するために、高分散が可能な炭素担体および劣化を抑制した白金ナノ粒子の担持法の開発、白金ナノ粒子触媒の工業的多量合成法の開発を当社と岩手大学が共同で開発を行うものであり、これにより白金等貴金属の使用量を従来の1/10に低減し、燃料電池の低価格化を実現することで、その普及に大きく寄与することを目指すものである。

贈呈金額：150万円

○ **ラピラス電機 株式会社**

代表者：代表取締役 福勢 慶昭

住所：岩手県八幡平市平館8-153（岩手工場）

事業計画名：アロマオイルの製造／販売を通して八幡平市を中心とした北東北広域圏の未利用および廃棄される地元産森林材料を活用した地域特産物の創出とそのブランド化

共同研究者：岩手県立大学 総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎

岩手大学 工学部 応用化学・生命工学科 准教授 土岐 規仁

計画の要約：「北東北の自然からリラクゼーションをご提供」をコンセプトに、八幡平市を中心とした北東北広域圏の森林材料（枝葉）を活用し、安心・安全な高品質エッセンシャルオイル（天然100%ピュアアロマ）を製造販売する。精油の品質が価格を左右するため、クロマトグラフ質量分析、他品質管理項目の測定ならびに原料から製品に至るまでの経路を明確化により他社製品との差別化を図るとともに、将来的にはアロマの生産ライン見学、アロマセラピー体験、商品購入等が行える拠点を開発し、北東北におけるアロマ産業の拠点としていく。

贈呈金額：150万円

○ **株式会社 アークネット**

代表者：代表取締役社長 兒玉 明

住所：岩手県盛岡市中央通1丁目6-30

事業計画名：トウモロコシの活性炭による汚染土壌改良事業

共同研究者：岩手大学 名誉教授 成田 榮一

計画の要約：当該活性炭は、岩手大学工学部と岩手県環境保健研究センターの共同開発品であり、2013年に産学官で製法特許を取得している。従来は、この活性炭を活用した高収量の農作物栽培を目的に土壌改良に関する検証を行ってきたが、東日本大震災を機に活性炭の吸着特性を活かし環境浄化分野にも進出しており、本事業により、安全安心の農作物を確保するため、有害金属（カドミ、セシウム、ヒ素等）の汚染を防ぐ技術を確立していく。

贈呈金額：150万円

○ **株式会社 中原光電子研究所**

代表者：代表取締役 中原 基博

住所：岩手県花巻市東和町土沢1区1-1

事業計画名：超高速・大容量デジタルコヒーレント光伝送受信器用小型ファイバアレイの開発

共同研究者：岩手大学 工学部附属複合デバイス技術研究センター 特任教授 対馬 登

計画の要約：スマートフォンなどの普及拡大に伴う情報量の増大に対応するため、現在、超高速・大容量デジタルコヒーレント光伝送装置が増設されており、その小型・高集積実装が課題となっている。本事業は、光伝送装置の部品の1つとして使用されるファイバアレイを小型にすることで、伝送装置全体の小型高集積化・省スペース化に資するものである。

贈呈金額：150万円

以上